

地域課題のリサーチ講座、 地域課題の解決策を考える①・②



トータルコーディネーター：岩本 ヤヨエ さん
(WOMEN'S VISION 会長)

三沢市のご当地ヒーロー「海鮮野郎ホッキーガイ」を誕生させたほか、男女共同参画の意識啓発、まちづくり活動、ジェンダー視点の地域防災等を積極的に推進。多岐に渡り県内で活躍中。平成27年度青森県いきいき男女共同参画社会づくり「女性のチャレンジ部門」奨励賞受賞。

なぜ、地域の女性のリーダーが必要なのか？

東日本大震災での避難所で、女性が困っていることがあっても男性のリーダーに中々言い出せず大変な思いをしたということがたくさんありました。非常時に突然リーダーに立候補したとしても、どうでしょうか？やはり、普段から地域の中で信頼関係を構築し、顔を覚えてもらうことが重要だと思います。

地域の自慢を見つける

2グループに分かれて、他の地域の人に自慢したい下北地域の「人」「食べ物」「場所」「行事・まつり・風習」の4項目を、それぞれが付箋に書き出していきました。書き出した付箋をホワイトボードに貼り出し、グループごとに発表を行い、情報を共有しました。付箋に書き出した自慢は100を超え、地域のお宝がたくさん見つかりました。

「地域の自慢は地域の宝物であり、皆さんの強みでもあります。」



地域の解決策を考える

個人の困りごとであっても、同じ困りごとを抱えた人がいると、社会の問題であつたりもします。つまらない悩みも聞いてもらうことで、発展して解決策が生まれたりします。地域の困りごとや、受講生自身が悩んでいることなどを話し合い、解決策を考えました。

「アイデアは知識と情報の蓄積があつてひらめくものです。自分が心からやりたいと思ったものに勝るものはありません。思いのあるアイデアは実現すると思っています。」



グループ分け

地域の困りごとから見えてきた解決したいテーマを絞り、2グループに分かれ、次回、解決策を話し合うこととなります。

〈グループ1〉工藤 凧紗 / 相馬 さとこ / 村上 菜月

〈グループ2〉井田 晴香 / 立花 有希 / 長津 亜紀江 / 廣田 聡子

参加者の声

▶この様なコミュニケーションの場がもっともって増えて、色々な世代の人が集まり、各々の考えを出し合う機会を増やせば、より良いむつ市のヒントもたくさん見つかるのではないかと感じました